

令和6年

○臨濟會

11月
19日
火曜日

開場 17:00
開演 17:30
終了 20:00

有楽町
よみうりホール
(ビックカメラ7階)

臨濟會創立75周年企画
大般若法要

導師：建長寺派管長、吉田正道老師

臨濟會会長 平林寺専門道場師家松竹寛山老師

『僧堂の修行について』

臨濟會有志

寸劇『ある僧堂の一日』

臨濟會：東京都台東区4-1-12 宋雲院内 03-3844-3711

主催：臨濟會・妙心寺派東京教区 協力：東京禪センター

第61回

禅もさくく
講演会

聽講券
1,500円

お申込みはホームページからお願いします。
前売り券をご予約の方には、招待券を一枚お付け致します。



臨済会75周年企画

臨済会は現在、東京都内の臨済宗寺院で約100ヶ寺より構成されている任意団体です。

昭和24年の秋に妙心寺派 龍源寺 松原泰道和尚、大徳寺派 宋雲院 山本禪登和尚、南禅寺派 金地院 松浦勝道和尚を中心として全臨済宗の任意団体として設立され、戦後間もない東京において、臨済禪の布教伝道を第一の活動として昭和25年『法光』誌を発刊し、以後年4回発行を続け、会務の報告・布教資料の提供を目的とした『臨済会報』も発刊され、現在に至っております。

また年1回「禅をきく講演会」および「禅をならう集い」を開催し、臨済宗各派管長猊下や専門道場の老大師を講師にお迎えし、深い禅の教えを拝聴する機会を設けております。

今年は臨済会が設立75周年を迎え、『法光』が令和6年秋彼岸号を以て300号となりました。そこで今回は皆様には普段見る機会の少ない僧堂(修行道場)の修行生活について、臨済会会长よりお話をいただくとともに、有志による寸劇を行います。また、これからも皆様と共に禅の教えを学んでいけるよう『大般若法要』を厳修し、導師として建長寺派管長、吉田正道老師をお迎えいたします。

大般若法要

大般若法要とは、唐代の玄奘三蔵が訳出した『大般若波羅蜜多經』という全600巻の経典を転読という独特の方法で厳修します。

その儀式は経本を古式に依って繰り出し

こうぶくいっさいだいまさいしょうじょうじゅ
「降伏一切大魔最勝成就」

と全身全靈を使って声を出し、魔除けと共に、空の教えを全身で顯す御祈祷です。また、五穀豊穰や国家安寧、衆生の幸せをひたすらに祈る事を目的とした法要です。

臨済宗の法要の中で、特に迫力があり、普段穏やかな僧侶が真剣かつ、裂帛の気合を込めて行じる姿をご覧いただきます。



建長寺派管長
吉田正道老師

室号・栢樹庵。1940年、岐阜県生まれ。1959年、京都建仁寺僧堂の竹田益州老師に就いて参禪。1984年、鎌倉建長寺専門道場師家代参。1987年、建長寺派管長ならびに専門道場師家に就任。



臨済会 会長
松竹寛山老師

室号・江楓室。1959年、長崎県生まれ。1986年、野火止平林寺専門道場掛搭。2011年花園大学非常勤講師、妙心寺派東京禪センター主任を経て、妙心寺派平林寺住職、平林僧堂師家就任。2019年公益財団法人、禪文化研究所理事長就任。臨済会会长就任。